

DVD (人権教育)

登録番号	題名	時間	内容	利用対象	購入	区分	備考欄
D5	エールを贈るパス	29	直子の母は、障害のある少女の心を傷つけてしまう。直子はすぐに母の間違いに気づき、心を傷つけた少女智香に、母と謝りに行く。勇気を出して謝ったことで、直子と智香の友情が芽生え、直子たちは、障害者も健常者も同じ社会の一員として認め合う事の大切さを学ぶ、感動の児童向き人権問題啓発映画である。	小学生	H17	Ji	
D23	同級生	30	この作品は30年前、部落差別が原因で物別れになってしまった二人の父親が、子どもたちや家族同士のふれあいの中で再び部落差別と向き合いながら友情を取り戻していく姿を描いています。この作品を通して、自分自身の心をみつめることの大切さ、人として生きるうえで親が子どもに伝えなければならないことは何か、今一度家庭における教育の大切さを考えるための手がかりにしていきたいと思えます。	小～一般	H19	Ji	
D24	泣いて笑って涙して ポコアポコ	53	大阪府松原市に住む、車いすの福井千佳さんが障害をもちながら、空き缶を拾ってそれをお金に替えそのお金で、お年寄りに車いすを5年間に100台も贈った、心温まる実話の映画化です。千佳さんの日常生活を通して、苦難の努力と、お母さんの力強い生き方を、人々の暖かい励ましをまじえて描き、明るい社会を目指す感動的な作品として制作されました。	小～一般	H19	Ji	
D37	こころに咲く花	35	いじめのない、人権文化の息づく社会をつくるために～パワハラ、子どものいじめを通して～ 今、学校や地域でのいじめ、職場でのパワハラ、セクハラが人権侵害とした大きな社会問題になっています。 いじめは決して他人事ではなく、「私」「自分」の問題なのです。それは、いじめに関して私たちは皆、いずれかの形で加害者、被害者、観衆、傍観者のなかにいると言われているからです。そのことを自覚しているか、いなかで状況は大きく変わってきます。	一般	H20	Ji	
D57	ありったけの勇氣	27	「いじめはやめよう」と言える勇氣を子どもたちに伝えたい 子どもたちは「いじめは良くない・悪いことだ」と心の中では思っている、でも、「自分がいじめられるのではないのか」という不安から、いじめ側に回ったり、見て見ないふりをしてしまうのではないだろうか。このドラマでは、友達との関わりや相手の気持ちを考えることの大切さ、いじめをなくすためにお互いに認め合い、本音で話せる関係づくりなど、いじめに立ち向かう勇氣の大切さを伝えます。	小	H21	Ji	同じもの有り D138
D58	親愛なる、あなたへ	37	現在、都市化や核家族化が進行し、地域社会における人々の結びつきが弱まっています。近隣同士であってもお互いに無関心、無理解であることにより、様々な人権問題が起きています。本来、地域の主人公はそこに暮らすすべての人々であるはずですが、しかし、実際には、自分も「まちづくり」の主人公であることをすっかり忘れて、他人任せになりがちです。このドラマは、一人の人間の気づきと再生を中心に描いています。一人一人の「気づき」こそが、互いに支え合う力が低下した地域の「再生」につながります。無関心、無理解という冷たい壁を破って、温かい見守りと相互支援を進めることの大切さを語りかけます。地域に関わる全ての人が、同じ社会の構成員として、よりよい暮らしづくりを実践する地域社会を創造していくために、このドラマを制作しました。	一般	H21	Ji	
D67	小学生のための人権パート1 思いこみに気づく	14	テーマ1「思いこみて何だろう？」 テーマ2「ちがいを受け入れる」	小	H22	Ji	
D68	あの空の向こうに	38	私たちが普段何気なく使っているケータイやインターネットがある日突然「凶器」に変わってしまう・ケータイやインターネットによる人権侵害は、いつだれの身に起きてもお不思議ではない深刻な問題です。だれもが被害者に、そして加害者にもなり得るのです。	一般	H22	Ji	
D69	障害のある人との ふれあいと人権	23	安心して暮らせる社会を築いて行くためには、健常者と障害者が助け合うことが重要である。街で障害者に出会ったとき、どのように行動したらよいか、実際の場面を見ながら考えていきます。	一般	H22	Ji	
D98	探梅(たんばい) 春、遠からじ (アニメーション) 貸出不可	40	人権問題の多くは、人を排除する意識から生まれ、人が孤立することで深刻化していきます。しかし「困ったときはお互い様」。その気持ちが人を温かく結び付け、助け合う社会へと導きます。私たちは、「排除」や「孤立」を生み出す社会ではなく、互いに違いを認め、支えあい、あらゆる人を包み込む社会をつくっていきたくと考えます。この映画では、北九州市が展開する「いのちをつなぐネットワーク」を取り上げながら、「包み込む社会」に焦点を当ててみました。人と人とのつながりや助け合いの根底となる人権尊重について考えていただければ幸いです。	一般	H23	Ji	同じもの D159有り
D99	それぞれの立場それぞれのきもち	28	一連のドラマの中で、日常の職場で起こりそうな出来事を取り上げます。年代や経験、価値観の異なるメンバーそれぞれがどのような思いを持っているのかを描き、コミュニケーションの重要性やダイバーシティの考えに沿って問題解決のヒントを示しています。 ①働く女性たち～仕事と家庭の間で～ ②上司と部下～思い込みが生むすれ違い～ ③こころの健康と周囲の気づき～職場のメンタルヘルス～ ④働き方と働きがい～仕事のモチベーション～ ⑤仲間への思いやり～相手の気持ちを想像する～ ⑥ユニバーサルデザインが教えてくれること～仲間の多様さを知る～ ⑦職場のダイバーシティ～多様な仲間を受け入れる～	一般	H23	Ji	
D100	クリームパン 「いのちと人権」～つながる いのちを感じて～ (実写版)	36	子どもや若者たちの間で、あまりにも軽く使われる「死にたい」「死ぬ」「殺すぞ」といった言葉。それは、彼らが「いのち」の尊さに気づいていないことの表れでしょう。もしかしたら、大人も気づいていないのかもしれない。「いのち」とは温かく、ずっしりと重いもの。一度失われたら、二度と再生しないもの。このドラマは、人によって生かされ、つながっていく「いのち」を中心に描いています。虐待やいじめなど、人を傷つけ、いのちを奪うのも「人」ならば、傷つき、死に瀕している人のいのちを救うのもまた「人」なのです。人と人がふれあい、心を通わせることで救えるいのちがあります。子どもへの虐待や若者の自殺など社会問題になっている事件を通して、社会や地域の中で孤立している人々に対する正しい理解を訴えるとともに、このドラマを見た方々に、今一度「いのち」について自分の問題として考えていただけるような人権啓発ビデオを制作しました。	一般	H23	Ji	

DVD (人権教育)

登録番号	題名	時間	内容	利用対象	購入	区分	備考欄
D101	人権のヒント 地域編 (実写版)	25	街の喫茶店「カフェ・ヒューマンライズ」のママのところに、さまざまな思いをいだいた人々が集ってくる。その交流のなかから、「人権のヒント」を考え、それぞれの違いを思いやる心の大切さを理解していく内容。 ■結婚したら女は家庭に入るのが常識？ ■障がいのある人は何が何でも介護されるべき存在でしょうか？ ■自分を通すために強く主張して相手を傷つけたり、いい出せなくて自分が傷ついてしまったりしたことはありませんか？ ■同和問題や外国人差別など、根拠のない思い込みと決めつけはありませんか？	一般	H23	Ji	
D105	どうしてそんなこと 聞くの (公正な採用選考のために) (実写版)	27	最近では採用選考を行う際、受験者にエントリーシートを課す企業が増えています。公正な基準に則ったエントリーシートを活用することは、採用選考の新たな可能性につながる反面、それにまつわる問題事例も発生しています。予断や偏見を取り払い、適正と能力のみを判断基準とする公正な採用選考をすることが大切です。この作品では、エントリーシートのあり方を考えることをきっかけに、採用選考担当者にとって必要十分な、公正採用選考のための情報を紹介します。	一般	H23	Ji	
D106	私の中の差別意識 (部落差別問題から考える) (実写版)	24	部落差別問題を通し、人の中に巣食う差別意識への気づきを促してゆきます。あからさまな部落差別は影を潜めましたが、まだまだ結婚差別や就職差別などは残っているのが現状です。この作品は、ドキュメンタリーを通し、差別された人々の心の痛みを伝えつつ、どうすれば差別がなくなるのか考えるきっかけを提供します。そして、自らの差別意識に気づき、正しい知識や判断力を持つことの大切さを伝えます。	一般	H23	Ji	
D118	マザーズ ハンド ～お母さんの仕事～ (実写版)	19	親娘愛・姉妹愛・友人の思いやり そして、母の後ろ姿が私を変えた！ 家族とは何か？人権とは何か？差別とは何か？	一般	H24	Ji	
D119	紅色のビー玉 ～“偏見”失いかけた家族の愛～ (実写版)	50	私たちは、だれもが健康・幸福で生きがいのある生活をしたと願っていると思います。そのためには、みんなが身近なところに存在する様々な人権を理解して、人の尊厳を考え、お互いの立場を尊重し、日々の生活を過ごさなければいけません。ある家族の姿を描くことによって、身近にある偏見や差別に目を向けてもらい、人権への理解を深めると共に、誰もが幸福に生きていく権利を持っていることを知ってもらうことを目的に制作されました。	一般	H24	Ji	
D120	桃香の自由帳 (実写版)	36	核家族化や都市化が進む中、人々の地域などへの意識が大きく変わり、互いにふれあい、支え合うことが少なくなっています。そのため、同じ地域に暮らしていても、名前さえ知らなかったり相手のことを誤解して排除したりするなど、私たちは気づかないうちに「人とつながり」を自ら断ってしまうことがあります。このドラマは、劇的な事件は描かず、どの地域でも起こりうる出来事に光を当てています。日常の何気ない言動を振り返ることで、現代を生きる私たちが見失いつつある、人と人が寄り添い、共に生きる温かな世界とは何かについて語りかけます。東日本大震災後、改めて見つめ直されている「人と人のきずな」。私たちは一人ひとりが地域社会を担う一員として、助け合い、支え合って生きる共生社会を創造していくために、このドラマを制作しました。	一般	H24	Ji	
D122	いじめと戦おう！ ～私たちにできること～ 小学生編	21	連日いじめの報道が相次ぎ、全国的に子どもの命や尊厳を守るための取り組みが必要とされています。その中で、いじめはどのようにして起こり、どうすれば防げるのかを知っておくことは、現代に生きる小学生児童にとって必要な事と言えます。本教材は鑑賞した児童のいじめの、当事者、被害者、傍観者の立場を理解し、考えることができるドラマ形式の教材です。またクラスの大多数を如何にして“いじめの構図”を崩せるかという視点を中心に、いじめ問題全体について話し合うために活用頂けます。	小学生	H24	Ji	
D123	いじめと戦おう！ ～もしもあの日に戻れたら～ 中学生編	23	いじめによる中学生の自殺報道が相次ぎ、全国的に子どもの命や尊厳を守るための取り組みが必要とされています。いじめはどのようにして起こり、どうすれば防げるのかは保護者や教員にとって大きなテーマともいえます。本教材は、鑑賞した生徒がいじめのメカニズムや対策を自分の身に置き換えて考えることができるドラマ形式の教材です。いじめられっ子の立場だけでなく、傍観してしまっている生徒たちが如何にして、クラスの“いじめの構図”を崩せるかという視点を中心に、いじめの問題全体について話し合うために活用頂けます。	中学生	H24	Ji	
D135	友だちの声が聴こえる？	24	今日、いじめ、不登校、青少年犯罪の凶悪化・低年齢化などの問題が課題となっています。子供たちの生活の現状と問題点を把握し、子供たちの心を健全に成長させるため対策作りが急速に求められています。この作品は、友だちの心の声に耳を傾け、相手の考えや気持ちを尊重し本当の思いやりとは何かを考えるために制作されました。	小学生	H25	Ji	
D136	ほんとの空	36	高齢者や外国人に対する排除、不利益な扱い、同和問題や原発事故に伴う風評被害の問題、これら多くの人権問題に共通する根っここの部分は、私たちの誤った考え方や思い込み、偏見という「意識」です。誰もが他者の排除や差別がよくないことは理解しています。誤解や偏見に気づき人と深く向き合うこと、他者の気持ちを我がこととして思うこと、すべての人権課題を自分に関わることとして捉え、日常の行動につなげてもらうために、このドラマを制作しました。	一般	H25	Ji	
D137	誇り 一差別といじめは越えられる	30	震災と津波…。そして更に原発事故と風評被害が福島県を襲いました。いまま福島県は試練の中を生きています。それは、風評被害という名の差別や偏見、いじめだともいえます。情報に振りまわされ、真実を見ない…。その姿は、差別や偏見を生み出す人々の心のしくみを象徴しています。本作品は、福島県の人々が経験した事実をもとに、差別やいじめを考えるものです。	一般	H25	Ji	
D138	ありったけの勇気	27	「いじめはやめよう」と言える勇気を子どもたちに伝えたい。子どもたちは「いじめは良くない・悪いことだ」と心の中では思っている、「自分がいじめられるのでは？」という不安から、いじめ側に回ったり、見て見ないふりをしてしまうのではないのでしょうか。このドラマでは、友達との関わりや相手の気持ちを考えることの大切さ、いじめをなくすためにお互いに認め合い、本音で話せる関係づくりなど、いじめに立ち向かう勇気の大切さを伝えます。	小学生	H25	Ji	同じもの有り D57
D141	家庭の中の人権 生まれ来る子へ	25	「誰もが生まれながらに持っている“幸せになる権利”です」（法務局より引用）人は皆、幸せになるために生きています。その一方で、誰かを傷つけ、排除し、幸せになる権利を侵害しています。このドラマでは、「家庭の中の人権」に目を向け、祖父母と孫夫婦の会話を通して、私たちの身の周りにおける人権問題をクローズアップしました。家庭の中で、人権の尊厳について語り合い、伝えていくことは、すべての「いのち」を大切にすることでもあります。気づくこと、そして、行動することの大切さを描きます。	一般	H25	Ji	

DVD (人権教育)

登録番号	題名	時間	内容	利用対象	購入	区分	備考欄
D142	あなたの偏見、わたしの差別	30	人権という言葉はよく耳にしますが、自身の問題として考える機会は少ないのではないのでしょうか。しかし、少し視野を広げてみれば、身の回りにはさまざまな人権に関する問題や課題があるのです。本作では人権問題に興味を持つ若者たち4人に集まってもらいました。彼らが見つぎ、体験し、感じたことは、まさに人権に向き合うための旅とも言えます。4人の中で深まっていく議論とそれぞれの意見は、人権問題を考えるための確かな手がかりになるはずです。さあ、私たちが人権をめぐる旅にでかけましょう。	一般	H25	Ji	
D147	悩まずアタック！ 嵐・いじめのスパイラル	33	この作品は、いじめの防止対策推進法が成立したことを機に、法務省が主催する全国中学生人権作文コンテストの中で、法務大臣政務官賞を受賞した「いじめのスパイラル」をドラマで映像化したものです。この作文は、実際にいじめにあつて悩み苦しんだ、ある中学生が、なんとか周囲の人々に悩みを告白するきっかけをつかみ、いじめの問題を解決していく、一つの手がかりを提示する内容です。この作品を多くの子どもたちが鑑賞することで、いじめられたときは一人で悩まず、いかに勇気を出して周囲の大人に悩みを告白し、解決の道を探ってもらうことが大切であるかを伝えます。また、教師ら周りの大人には、いじめのSOSをいかに早く正確につかみ、的確に対処することが大切であることを訴えています。	中学生	H26	ji	
D148	秋桜の咲く日 - コスモス -	34	「違い」を認めないことによって、差別は始まるといえます。人はそれぞれ違うものなのに、違うというだけでその人を排除してしまう傾向が人間にはあります。違いを理解し、認め合うことが大切であることはもちろん、本当にすべての人の人権が尊重される社会とは、それぞれの違いを活かすことのできる社会だといえるのではないのでしょうか。この映画は、「目に見えにくい違い」の一つとして発達障害を取りあげています。発達障害のある人の生きづらさや痛みを真摯に伝えるとともに、「違い」が生み出すプラスのエネルギーを美しく群生するコスモスの花々と重ね、「ともに生きることの喜び」を伝えるための教材として制作いたしました。	一般	H26	ji	
D153	新ちゃんがいない！ (アニメ)	36	四肢性マヒのために全寮制の養護学園で学んでいた新ちゃんは、先生や先輩の励ましや本人の努力が実って普通小学校に転入することが出来た。しかし彼の行く手には、様々な障害が横たわっていた…。	小・中・一般	H26	Ji	ビデオV155 V593
D158	負けるな千太 一さよならいじめ虫ー (アニメ)	24	誰の心の中にも、いじめ虫がいる。 ドビュッシー「亜麻色の髪の乙女」の調べにのせて、素直な心でいじめを考える、ある夏の物語。	小学生	H27	Ji	
D159	探梅 (たんばい) 春、迷からじ (アニメーション)	40	人権問題の多くは、人を排除する意識から生まれ、人が孤立することで深刻化していきます。しかし「困ったときはお互い様」。その気持ちの人が人を温かく結び付け、助け合う社会へと導きます。私たちは、「排除」や「孤立」を生み出す社会ではなく、互いに違いを認め、支えあい、あらゆる人を包み込む社会をつくっていきたくと考えます。この映画では、北九州市が展開する「いのちをつなぐネットワーク」を取り上げながら、「包み込む社会」に焦点を当ててみました。人と人とのつながりや助け合いの根底となる人権尊重について考えていただければ幸いです。	一般	H27	Ji	
D162	あなたに伝えたいこと	36	この作品のテーマは「インターネット時代における同和問題」です。同和問題の解決を図るため、30年以上にわたって地域改善対策が行われてきました。その結果、生活環境などハードの面の改善は進みましたが、結婚差別や身元調査など、意識の面では依然として課題が残されています。この作品は同和問題を正面から取り上げ、この問題が決して他人事ではないこと、正しく知ることが同和問題を是れとす人権問題の解決につながることを描きます。また、インターネットには、その利便性とともに、匿名性に関する誤った理解に基づく差別的な書き込みや、自他との適切な距離が保てないネット依存など、陰の部分があります。インターネットは、本来、優れたコミュニケーションツールです。それを、人を傷つけ人権を侵害する凶器に変えてしまうのは、自分の心です。インターネットの持つ危険性に、私たちがどのように向き合っていけばよいのかを問い直します。この物語の主人公は、ごく普通の若い女性です。物語が進む中で、彼女は、自分の祖母や母が同和問題でつらい思いをしてきたことを知ります。彼女の結婚話を中心に、恋人や友人、家族などのかかわりを通して、ネット上の情報ではなく、実際に人とふれあう中でお互いを正しく知り合うことが、同和問題をすべての差別をなくしていくために重要であることを、明るい希望とともに伝えます。	一般	H27	Ji	
D163	イマジネーション imagination 想う つながる 一歩ふみだす	34	舞台は小さなラジオ局 様々な人が番組を聴きながら心を通わせ明日へとつながる一歩を見つけていく あなたはimaginationできていますか？ ・子供の人権-いじめ問題- いじめをなくすのはアナタ ・同和問題 「関わらないが一番」それ本当？ ・障害者の人権-発達障害- 見えにくいから知ってほしい、発達障害のこと	中学生～一般	H27	Ji	
D164	ことばの暴力 ～心を傷つけたひと～	20	私たちがとって当たり前存在である言葉、その言葉の大切さと、使い次第で言葉が人を傷つける刃物のようにしてしまうことを、少女美羽と美羽の家族、美羽の友達との何気ない日常をおして理解してもらい、言葉の力、使い方をもう一度考えてもらうきっかけになることを目的に制作されました。	小学生 高学年	H27	Ji	
D169	勇気あるホテルと とべないホテル	17	羽がちんで生まれた為に、とべないホテルがありました。彼を励まし、助ける仲間のホテルたち。足の不自由な妹の為に、ホテル取りにやってきた姉と弟、ホテルと子どもたちとのふれあいを通して、やさしさ、思いやりの大切さを描きました。	小学校	H27	ji	V650 242-2 V288画像乱れ有
D170	おじいちゃんのトマト	39	体の不自由な祖父を持つ少年、そして家族。この物語を通して高齢者問題や外見の違いから生じるいじめや差別、不登校、命の尊さなどの問題をなげかけます。	小学生 高学年 ～一般	H27	ji	
D172	シリーズ映像でみる人権の歴史 第1巻 東山文化を支えた「差別された人々」	16	プロローグ 第一章 「河原者」と呼ばれた人々とは ■又四郎の思い ■中世の河原の様子 ■河原に生きた人々とケガレ ■河原者としての庭師の姿 第二章 銀閣の庭に隠されたメッセージ ■庭づくりに携わった河原者 ■龍安寺の石庭 ■又四郎と麟崎の思い エピローグ	小学生・中学生	H27	ji	

DVD (人権教育)

登録番号	題名	時間	内容	利用対象	購入	区分	備考欄
D173	シリーズ映像でみる人権の歴史 第2巻 江戸時代の身分制度と差別された人々	15	プロローグ 第一章 身分制度はどのように確立したのか ■中世の身分と被差別民■近世初頭の身分政策■「寺請制度」と身分の固定化 第二章 「社会外」に置かれた人々の暮らしは？ ■地図に描かれた被差別部落■弾左衛門による支配体制■被差別部落の生業と役割 ■「非人」などの被差別民 エピローグ	小学生・中学生	H27	ji	
D177	シリーズ映像でみる人権の歴史 第3巻 近代医学の基礎を築いた人々	17	プロローグ 第一章 差別された人々と近代医学の出会い ■玄白と「ターヘル・アナトミア」の出会い■差別された人々の仕事と命 ■玄白たちが見た人体解剖 第二章 差別された人々から学んだ医師たち ■山脇東洋の腑分け エピローグ	小学生・中学生	H27	ji	
D178	シリーズ映像でみる人権の歴史 第4巻 明治維新と賤民廃止令	18	プロローグ 第一章 身分差別をなくす動きが始まる ■差別をなくす考え方■長州藩の部落民登用■部落の活躍と長州や幕府の裏切り 第二章 「賤民廃止令」の公布とその意図 ■賤民廃止令の作成と公布■廃止令・壬申戸籍と井上馨 エピローグ	小学生・中学生	H27	ji	
D184	その人権問題わたしならどうする？ 地域編	29	人間が人間らしく生きる権利、人権。それが侵害される場面が、私たちの生活の中に存在しています。たとえ人権の知識があっても、複雑な人間関係が絡み合い、自分が正しいと考える方を選択することが困難な場合があります。この作品は、さまざまな人権問題を通して、もしも登場人物の立場になったら自分はどうか行動するかを考える、視聴者参加型の人権学習映像集です。	一般	H28	ji	
D189	ここから歩き始める	34	「認知症を共に生きる」をテーマに、高齢者問題を人の幸せと尊厳を守るという人権の視点から捉えます。認知症の親を持つ主人公とその家族の中で繰り返される介護をめぐる葛藤とさまざまな筋ぎをおしを抽くことで、高齢者が人間として誇りを持って生きていく上で大切なことについて、家族や地域の視点を通して考えるきっかけとなるドラマ教材です。	一般	H28	ji	
D216	光射す空へ	32 + 14	この作品では、大学生たちの悩みと学びを通して「正しい理解」「多様性の受容と尊重」の大切さを描きます。大学生の朝陽の父が若年性認知症と診断されます。また朝陽にはトランスジェンダーの幼馴染との交流もあります。そんななか、担当教官の指導の下、新しく友人になった朝陽と優海は、同和問題について深く学びをすすめることになります。登場人物の成長と共に、誰もが人権を尊重される社会について、考えていただくための教材です。	一般	H28	ji	
D217	わっかカフェへようこそ ～ココロまじわるヨリドコロ～	35	あなたには「心のよりどころ」がありますか？忙しい日常に追われて誰かと「心を交流する」ことをおろそかにしていませんか？町の路地にたたずむこの小さなカフェにはいろんな人が訪れ、賑と暖が、出迎えます。ここは、ココロまじわるヨリドコロ。ようこそわっかカフェへ。	一般	H28	ji	
D231	そんなの気にしない —同和問題—	17	この作品は、二人の友だち同士が主人公です。タイトルの「そんなの気にしない」は、親友に自分が同和地区出身だということを告白したときに返ってきた言葉です。「気にしない」という言葉の底には、そのことをマイナスに見る意識があるかもしれません。私たちが普段なにげなく使う言葉や態度のなかには、相手を傷つけるものがあるかもしれない。そして、壁を乗り越えるのもまた、相手を信じる力だということを通じて伝えたいと思います。	一般	H29	ji	
D232	風の匂い	34	スーパーマーケットで働く青年、歩と正人が主人公です。歩には知的障害がありますが、子どもの頃は共に遊び、共に学ぶ「大切な友だち」でした。しかし、大人になった二人を隔てる健常者と障害者という壁。その壁を作っているのは誰なのか。二人の成長と職場での人間模様を通して、社会的な課題でもある「合理的配慮」についても触れ、見る方々が自分自身の問題として考えるきっかけとなるドラマ教材です。	一般	H29	ji	
D233	誰もがその人らしく —LGBT—	20	この作品は、主人公の周りにいたけれども見えなかったLGBT(性的少数者)の人たちが見えてくるストーリーです。LGBTの人たちに対する社会の偏見はまだ強く、存在していてもなかなか見えにくい、その存在を見だしにくいのが現状です。しかし、各種の統計からも明らかのように、LGBTの人たちは確かに存在し偏見や差別に苦しんでいます。気づいて一歩ふみだすための人権啓発作品で、誰もが生きやすい社会をつくる一歩になるのではないのでしょうか。	一般	H29	ji	
D234	あした咲く	36	この作品には、生き方の異なる姉妹が登場します。それぞれの立場ゆえの悩みや葛藤を抱えています。姉妹での対立や、父との対話、そして、地域の人々とのふれあいを通して、別の視点や価値観に気づきます。「幸せ」の形は十人十色です。自分で自分の生き方を選択し、女性はもちろん全ての人が「自分の花」をイキイキと咲かせることのできる、多様性尊重社会。その実現をめざすきっかけとなる人権啓発ドラマです。	一般	H29	ji	
D246	認知症と向き合う	30	高齢化の進展に伴い、認知症の人が、今後更に増加することが予測されています。一方で、多くの人たちが認知症に対して知識不足であり、偏見を抱いているのではないのでしょうか。確かに認知症の人の行動は不可解であり、その気持ちや行動の理由を理解するのは大変なことですが、しかし、認知症の人の立場に立てば、どんな行動にも本人なりの理由や思いがあります。大切なのは、認知症の人が楽している世界を理解し、尊重することなのです。本作品は、認知症によくみられる症状、認知症の人の思いと家族の気持ちの変化、症状の理解、介護者の交流の大切さなどを描いたドラマ教材です。認知症の人もその周囲の人も、よりよく生きていけるように。認知症について正しい知識を持ち、認知症の人の視点に立って、認知症への理解を深めることを目的に制作しています。	一般	H30	ji	
D247	いのちに寄り添う ナルケアと人権 ～ターミナルケア～	35	CHAPTER 1 最期を迎える人のために ～自宅介護で父に寄り添う～ CHAPTER 2 働き続ける人のために ～がん治療しながら働く仲間へ寄り添う～ CHAPTER 3 互いの命を尊重するために ～父が教えてくれたこと～ どんな風生きて、どんな風に最期を迎えるのか。もしも、あなたの身近かな人が、重い病になったとしたら？このビデオでは、二組の「いのちに寄り添う」人々に密着取材。2人に1人が、がんになる時代。現代に生きる全ての人々が学ぶべき、命の教材です。終末医療の在り方、病気との向き合い方は、ひとりひとり違います。ただひとつだけ言えること。それは、誰もが命の主人公だということ。	一般	H30	ji	
D248	家庭の中の人権 カラフル	31	「人権問題」というと、難解で、政治や法律や一部の組織に関わる人だけに関係があるものだと思われがちです。しかし、「人権の問題は、人間の問題」。私たち1人ひとりが生きていく日々の中に存在します。気づかずにいると、知らず知らずのうちに他人の人権を侵害してしまうこともあります。そして人権に対する意識の基礎は、家庭の中で育まれていきます。このビデオでは、両親と人生の巣立ちの時を迎えた子どもたちの会話を通じて、家庭の中にある人権課題を取り上げました。1人ひとりが「人権」に対する意識と知識を高め、家庭内で話し合うきっかけとしてお役立てください。	一般	H30	ji	

DVD (人権教育)

登録番号	題名	時間	内容	利用対象	購入	区分	備考欄
D249	わからないから、確かめ合う —コミュニケーション—	29	昨今、長時間労働による過労死、セクハラやパワハラなどのハラスメント、不当な差別など、企業が関わる様々な「人権問題」がメディア等で大きく取り上げられます。こうした人権問題への対応は、時として、企業の価値に大きく関わります。そのため、企業の社会的責任（CSR）や社会的責任投資（SRI）に対する関心の高まりと相まって、人権尊重の考え方を積極的に企業方針に採り入れたり、職場内で人権に関する研修を行う企業も増えてきています。今作「わからないから、確かめ合う」では、ハラスメントや差別的取扱いなど、多くの日本企業が直面する可能性が高いテーマを中心に取り上げ、それらに共通する解決策として、「コミュニケーション」提示しています。誰もが暮らしやすい社会を目指して、一歩ふみだしましょう。	一般	H30	ji	
D250	君が、いるから	33	この作品は、母親からの心理的虐待に悩む若者「奏」が主人公です。生き方を制限され、自分が愛されていると感じることができず自己肯定感の低い彼女も、コンビニエンスストアを舞台とした「ほんの小さな冒険」をきっかけに少しずつ変わっていきます。彼女は、そこで出会う人々とのふれあいを通して新たな価値観に気づいていきます。ともに心を通わせ、信頼することの先に「希望」と「幸せ」があることを奏の成長を通して描きます。子どもや若者が社会的に成長し自立していくために、人と人が関わり支えあいながら希望の種をまいていく、そんな社会の実現をめざす人権啓発ドラマです。	一般	H30	ji	
D257	いじめ 一歩をふみ出す勇氣	19	中学生向けのいじめ防止教材ドラマです。いじめを見て見ぬふりするのはよくないと分かっている、自分が標的になるのが怖くて、傍観者が何か行動を起こすことで、いじめられている子も救われるはずです。 本作品は、いじめの傍観者だった主人公が葛藤し、仲間と一緒にいじめの被害者を救っていかうとするストーリーを通じて、いじめ解決のために一歩ふみ出すことの大切さを伝えます。また、ドラマに登場するいじめの被害者・加害者・傍観者それぞれの立場に自分を置き換えて視聴することで、もし自分がその人物ならどうするか考え、話し合い、より良い行動をとる力を身につけていきます。 中学校では平成31年度から「特別の教科 道徳」が始まり、「考え、議論する道徳」の授業が求められています。いじめ防止のために、生徒たちが主体的に考え、議論するための教材として、本作品を活用いただければと思います。	中学生以上	R1	ji	
D258	いじめ 心の声に気づく力	19	小学校中・高学年向けのいじめ防止教材ドラマです。一見、ふざけ合いや遊びに見える行為も、相手が苦痛を感じていけば、それはいじめです。本作品では、子供たちがドラマに登場するいじめの被害者・加害者・傍観者の立場に置き換えて視聴することで、いじめ行為を受けたクラスメイトの本当の気持ちに気づく力を養い、いじめの傍観者にならず、解決のために何か行動しようとする意識を持つことをねらいとしています。 小学校では平成30年度から「特別の教科 道徳」が始まり、「考え、議論する道徳」の授業が求められています。いじめ防止のために、子供たちが考え、議論するための教材として、本作品を活用いただければと思います。	小学校	R1	ji	
D259	いじめと戦おう！ ～私たちにできること～ 小学生編	21	連日いじめの報道が相次ぎ、全国的に子どもの命や尊厳を守るための取り組みが必要とされています。その中で、いじめはどのようにして起こり、どうすれば防げるのかを知っておくことは、現代に生きる小学生児童にとって必要な事と思えます。本教材は鑑賞した児童のいじめの、当事者、被害者、傍観者の立場を理解し、考えることができるドラマ形式の教材です。またクラスの大多数を如何にして「いじめの構図」を崩せるかという視点を中心に、いじめ問題全体について話し合うために活用頂けます。	小学生	R1	ji	
D260	映像で見る人権の歴史 第6巻 日本国憲法と部落差別	17	第二次世界大戦が終結し、アジア諸国を侵略していた日本は敗戦国として、アメリカやイギリスなどの連合国の占領下におかれました。進駐したGHQ（連合国総司令部）は、民主主義や人権を認めていなかった『大日本帝国憲法』が廃止され、新たな憲法が制定されることを期待しましたが、日本側の作業が進まないために原案を提示しました。このことから、いまなお「日本国憲法はアメリカの押しつけではないか」という議論があります。このDVDでは、どのような経過を経て憲法が制定されたのかを検証し、その過程で戦後初の男女同権による民主選挙によって選出された国会議員たちが、主体的に憲法制定に取り組んだことを明らかにしました。さらに、平和の基礎となる人権尊重の精神がどのようにして憲法に書き込まれたか、とくに第14条の条文をめぐる論議に注目し、ここに「部落差別の禁止」が明確に記載されたことも明らかにしました。だれひとりとして「差別されない」と明記された「日本国憲法」こそが、真の「解放令」であることを伝え、「差別を黙って見過ごしてはならない」ことを、いま改めて憲法の意義とともに問いかけます。	小学生版 中学生以上版	R1	ji	
D261	「やさしく」の意味 —おばあちゃんは認知症だった—	33	日本は2025年に65歳以上の約5人に1人が認知症患者になると言われています。認知症という言葉は知られていても、その多くは「どのように接したらよいかかわからない」という戸惑いのイメージが先行され、正しく理解されていない現状があります。 その様な中、福井県敦賀市では、「認知症はつとけんまち敦賀」をスローガンに、認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活が続けられるまちを目指し、認知症の普及啓発、早期発見等に取り組んでいます。 認知症サポーターの数も、平成30年度で1万人を超え、10年前と比べて約10倍も増加しています。平成22年度からは、小中学生を対象とした認知症サポーター養成講座も積極的に開催されています。 この作品は、敦賀市で開催された「小中学生の認知症サポーター作文コンテスト」で、最優秀作品に選ばれた小学4年生（当時）・三輪実由さんの『「やさしくする」ということ』という作文を脚色し、ドラマ形式の教育映画にしたものです。全国の認知症患者、その家族、そして彼らを取り巻く地域社会。一人一人が安心して暮らしていくためにできる工夫とは何かを示唆していくものです。	小学生 ～一般	R1	ji	
D262	ハラスメントを生まないコミュニケーション	25	一見、コミュニケーションが良好に見える職場にも、ハラスメントの落とし穴はひそんでいます。もしかししたら、普段の何気ない言動が、知らぬ間にハラスメントになっているかもしれません。 ハラスメントを生まないために、どのようなことを意識すれば良いのでしょうか。 様々な事例をもとに、それぞれの立場の考え方や、気づきのポイントを示し、職場でのコミュニケーションのあり方を考えていきます。	一般	R1	ji	